

# スクールマネジメント実践報告書

## 12 諏訪小学校

### 地域とともにある学校づくり

#### 小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）

中学校区の目指す子ども像	郷土への愛着と郷土に生きる誇りをもち、大きな「志」を抱いて、未来を切り拓く子ども
我が校の目指す子ども像	共に創り出す子ども 学びを創る 人間関係を創る 健康を創る



実現に向けた重点的な取組内容	小中一貫教育の具体的な取組	
	我が校の取組	中学校区の取組
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びのやくそく」「雄志中学校区授業スタイル」の徹底</li> <li>・丁寧で気持ちのよいあいさつや言葉遣いをする全校運動の実施</li> <li>・「にこにこハッピーの木」による思いやりの気持ちの見える化</li> <li>・毎月の「健康アップデート」の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す子ども像をどう育むかを明確にした中学校区グランドデザインの作成と、校区全教職員が所属する6部会組織による小中連携、小中一貫教育の推進。</li> <li>・キャリア教育「5つの視点」を大切にした中学校区キャリア教育取組プランに基づく小中9年間を見通した共通実践。</li> </ul>
	成果○と課題■	成果○と課題■
<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループでの話し合いに、自分の意見を言おうとする姿が見られた。</li> <li>○自分のことだけでなく、相手の気持ちも考えられるようになってきた。</li> <li>■保護者と児童とで認識の違いが伺える。児童と保護者が一緒に家庭でのメディアのルールを作り確認できる機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校区教職員全員研修会（7月）の開催、並びに同研修会への拡大CS委員の参画。</li> <li>○部会活動を総括した活動報告書の作成と学区全教職員での成果と課題の共有。</li> <li>■コロナ禍でも、小中教職員同士、子どもと地域住民が協働できる取組の工夫。</li> </ul>	

#### 〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉

取組の概要	主な活動内容	
教育課程を5期に分け、生活科や総合的な学習の時間を中核に各教科との関連を図り、「諏訪小カリキュラム」に沿った学習を展開した。5期ごとに中核となる行事や活動を設定し、これらの活動や学習を通して、課題や対象に前向きに関わって学ぶ子、身に付けたことを生かして深く学び、自分の考えをもてる子、仲間と協力して学び、一歩上の自分（たち）を創り続ける子の育成に取り組んだ。	生活科	「やさいとわたし」（1・2年）
	総合	「諏訪の宝物」（3・4年）
	総合	「創立120周年～学校の歴史に学ぶ～」（5・6年）
学校運営協議会の評価 地域との連携を図った体験的要素を取り入れた学習活動を進め、小規模校ならではの教育活動を推進している。学習に関しては、家庭学習への意欲向上に向け、学び方の手立てを講じる等、児童一人一人の実態に応じた支援を今後も継続する。	○	当てはまる
		どちらかというと当てはまる
		どちらかというと当てはまらない
		当てはまらない

# スクールマネジメント実践報告書

## 学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	1人	保護者	3人	住民	8人	その他	1人	合計	13人
学校運営協議会の回数 ※( )は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1学期	1回(0)	2学期	1回(1)	3学期	1回(0)	合計3回(1)	
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	1回(0)	2学期	回( )	3学期	1回(1)	合計2回(1)	

活動の内容	成果○と課題■
<p>教育課程づくりの基となる「地域が目指す人間像(子どもの姿)」について、学校側の視点にとどまらず、学校運営協議会委員(以下CS委員と略記)から意見をいただいた。協議においては少数規模校ならではの特性を活かした教育課程づくりに向けた話し合いが行われ、目指す子どもの姿の共通理解を図った。</p>	<p>○小学校が地域コミュニティの存続や発展の中核的な施設として位置付けられていることから、CS委員及び地区公民館等の校区諸団体との協議・協働により作成されたランドデザインを、「地域とともに歩む学校」のベースとして教育活動が行われている。</p> <p>■学校運営協議会が、学校の教育活動への示唆役にとどまることなく、地域の活性化および担い手づくりを目的とした「協働体制」として機能するよう、働きかけが必要である。</p>

総括
<p>小規模校の特性を生かし、学校運営協議会には県費負担の教員が全員参加し、学校の取組説明や意見交換を行った。教員の当事者意識の醸成や課題意識の共有に有効である。また、CS委員と教員全員が顔の分かる関係になることで「地域とともに歩む教育」の推進につながっている。</p>

### 〈活動紹介〉

<p>○1・2年生は、おいしい野菜をつくりたいという願いをもって調べたり、育て方を教わったりして毎日、世話をしました。</p>	<p>○地域探検活動を行いました。自分たちのふるさとである「諏訪」の魅力を、何度も歩いて探検し、下割遺跡の見学・発掘体験を行いました。</p>	<p>○諏訪小学校創立120周年。5・6年生は、学校の歴史や、地域の活動について学び、iPadを活用して画像や動画の編集を行い、発表しました。</p>
---	---	---